

2019年4月に配付した冊子に誤りがあったため、黄色ハイライトの部分を修正しています。

Ⅱ. 教員免許状取得希望者

政治経済学部を設置科目を履修することにより、取得できる教員免許状の種類は、次のとおりである。

- 中学校教諭1種免許状 社会
- 高等学校教諭1種免許状 地理歴史
- 高等学校教諭1種免許状 公民

教員免許状の取得を希望する者は、『教職課程履修の手引き』（教育学部教職課程発行）を必ず参照の上、免許状取得に必要な科目・単位数を十分考慮し、あらかじめ計画を立てて科目選択をするとともに、不明な点は学部事務所で必ず確認すること。

また、中学校教諭免許状取得には、1997年6月「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」が成立し、1998年度入学者（学士入学は2000年度入学者）より7日以上の介護等体験が義務づけられたので留意すること。

なお、大学院生には、教職課程科目の履修を許可しないので、希望者は、学部在学中に修得しておくこと。

一部の科目は空きがあった場合に3次登録でのみ登録可能です。

【免許状申請資格】下表で定める最低修得単位数以上を履修すること。

法令区分／免許状の種類	中学校教諭1種免許状	高等学校教諭1種免許状
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	合計8単位	合計8単位
日本国憲法	2	2
体育（実技）	2	2
外国語コミュニケーション	2	2
情報機器の操作	2	2
教科及び教職に関する科目	合計59単位	合計59単位
教科及び教科の指導法に関する科目	小計28単位	小計24単位
教科に関する専門的事項		
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8	4
教育の基礎的理解に関する科目	10	10
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8
教育実践に関する科目	7	5
大学が独自に設定する科目	4	12
最低修得単位数の合計	67	67

1. 基礎資格

本学部を卒業し、学士（政治学）、学士（経済学）あるいは学士（国際政治経済学）の学位を有すること。

2. 日本国憲法

本学部設置の「法学A（憲法を含む）」「法学B（憲法を含む）」「憲法」で充当される。

3. 体育（実技）

GEC設置の「スポーツ実習Ⅰ」、「スポーツ実習Ⅰ（体育各部）」、「スポーツ実習Ⅱ」、「スポーツ実習Ⅱ（体育各部）」合計2単位以上で充当される。

4. 外国語コミュニケーション

以下の本学部設置科目で充当される。

英語 Tutorial (General Tutorial English α) ※	英語 Tutorial (General Tutorial English β) ※
--	---

※英語 Tutorial は α と β 2科目合わせて2単位

以下のGEC設置科目によっても充当される。

General Tutorial English (初級) α	朝鮮語 (入門)
General Tutorial English (初級) β	朝鮮語 (初級)
General Tutorial English (準中級) α	朝鮮語 (準中級)
General Tutorial English (準中級) β	朝鮮語 (中級)
General Tutorial English (中級) α	朝鮮語 (上級)
General Tutorial English (中級) β	イタリア語 (入門) 理解
General Tutorial English (準上級) α	イタリア語 (入門) 表現
General Tutorial English (準上級) β	イタリア語 (入門) 理解・表現
General Tutorial English (上級) α	イタリア語 (入門) <アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語>
General Tutorial English (上級) β	イタリア語 (入門) <英語で学ぶイタリア語>
General Tutorial English (上級プラス) α	イタリア語 (初級) 理解
General Tutorial English (上級プラス) β	イタリア語 (初級) 表現
General Tutorial English (初級)	イタリア語 (初級) 理解・表現
General Tutorial English (準中級)	イタリア語 (初級) <アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語>
General Tutorial English (中級)	イタリア語 (初級) <英語で学ぶイタリア語>
General Tutorial English (準上級)	イタリア語 (準中級) 理解
General Tutorial English (上級)	イタリア語 (準中級) 表現
General Tutorial English (上級プラス)	イタリア語 (中級) 理解
	イタリア語 (中級) 表現

5. 情報機器の操作

以下のGEC設置科目で充当される。

マルチメディア入門（デジタルサウンド）	情報表現の実践
プログラミング入門	Webデザイン実践
プログラミング初級（C/C++）	サーバサイドWebプログラミング初級
プログラミング初級（Java）	クライアントサイドWebプログラミング初級
プログラミング初級（Visual Basic）	サーバサイドWebプログラム中級
プログラミング初級（Ruby）	クライアントサイドWebプログラミング中級
プログラミング中級（Java）	データベース（SQL入門）
プログラミング中級（C/C++）	データベース（管理と運用）
プログラミング中級（Visual basic）	マルチメディア初級（画像処理とアニメーション） α
プログラミング中級（Ruby）	マルチメディア初級（画像処理とアニメーション） β
アルゴリズムとデータ構造 α	マルチメディア中級（画像処理とアニメーション） α
アルゴリズムとデータ構造 β	マルチメディア中級（画像処理とアニメーション） β
ソフトウェア開発技術 α	ミュージック・プログラミング
ソフトウェア開発技術 β	CGエンジニア入門
情報セキュリティ技術	

なお、GEC設置科目は、全学の希望者が応募するため、1年次から計画的に履修を進めること。

6. 教科及び教科の指導法に関する科目

本学部設置科目（卒業非算入科目部門に計上できる教職用教科科目も含む）の単位、および他学部提供等で充当される。履修方法については、次ページ以降を参照のこと。

7. 教育の基礎的理解に関する科目

8. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

9. 教育実践に関する科目

（上記3科目の総称として、「教育の基礎的理解に関する科目」等とする。）

教育学部設置科目の単位で充当される。教職課程科目は卒業非算入科目部門に計上され、卒業所定単位には算入されない。履修方法については、次ページ以降を参照のこと。

10. 大学が独自に設定する科目

教育学部設置科目の単位で充当される。教職課程科目は卒業非算入科目部門に計上され、卒業所定単位には算入されない。履修方法については、次ページ以降を参照のこと。

「教育の基礎的理解に関する科目」等、「教科及び教科の指導法に関する科目」の最低修得単位数を超えて単位を修得した場合は、「大学が独自に設定する科目」の単位として計算される。上表に記載の単位数は、「教育の基礎理論に関する科目」等、「教科及び教科の指導法に関する科目」および「大学が独自に設定する科目」の合計最低修得単位数である59単位から、「教育の基礎的理解に関する科目」等と「教科及び教科の指導法に関する科目」の最低修得単位数を差し引いた単位数であり、「大学が独自に設定する科目」の科目区分に設置されている科目を、記載されている単位数以上履修しなければならないという意味ではない。

教育職員免許状取得 履修方法

中学 1 種「社会」

免許法施行規則に規定された科目		[①必修科目]	単位	履修方法	[②選択科目]	単位	備 考
教 科 及 び 教 科 の 指 導 的 関 係 す る 科 目	日本史・外国史	日本史概論A	2	必修	日本政治史	4	
		日本史概論B	2	必修	日本政治思想史	4	
					日本経済史	4	
					日本経済思想史	2	
					経済史入門A	2	
					経済史入門B	2	
					メディア・コミュニケーション史	4	
					政治行動論	2	
		外国史概論A	2	必修	西洋政治史	4	
		外国史概論B	2	必修	西洋経済史	4	
				アジア経済史	4		
				地域研究（東アジア史）	2		
				東洋政治思想史	2		
				地域研究（東アジア政治経済）	2		
	地 理 学 （地誌を含む。）	人文地理学 1（文学部）	2	選択必修		2	
		人文地理学 2（文学部）	2	下記注 参照			
		自然地理学 1（文学部）	2				
		自然地理学 2（文学部）	2				
		人文地理学（社会科学部）	2				
		自然地理学Ⅰ（社会科学部）	2				
		自然地理学Ⅱ（社会科学部）	2				
		地理Ⅰ（教育学部）	2				
		地理Ⅱ（教育学部）	2				
		地誌（社会科学部）	2				選択必修
	地誌 1（文学部）	2	下記注 参照				
	地誌 2（文学部）	2					
地誌Ⅰ（教育学部）	2						
「法学、政治学」	政治分析入門	4	選択必修	国際政治学	4		
	法学A	2	下記注 参照	憲法	4		
	法学A（憲法を含む）	2		国際法Ⅰ	2		
	法学B	2		国際法Ⅱ	2		
法学B（憲法を含む）	2	日本政治論入門		2			
「社会学、経済学」	理論社会学	4	選択必修	経済学史Ⅰ	2		
	ミクロ経済学入門	2	下記注 参照	国際関係論入門	2		
	マクロ経済学入門	2		国際経済学	2		
				国際貿易論	2		
				国際金融論	2		
				経済政策	2		
				ミクロ経済学A	2		
				ミクロ経済学B	2		
				マクロ経済学A	2		
				マクロ経済学B	2		
				日本経済論入門	2		
				日本経済論	2		
				Microeconomics A	2		
				Microeconomics B	2		
				Macroeconomics A	2		
		Macroeconomics B		2			
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学研究	4	選択必修				
	宗教研究Ⅰ	2	下記注 参照				
	宗教研究Ⅱ	2					
	倫理学概論	4					
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		社会科教育法 1	2	必修		「社会科教育法3」および「社会科教育法4」は、高等学校地理歴史・公民の免許には使用できない。	
	社会科教育法 2	2	必修				
	社会科教育法 3	2	必修				
	社会科教育法 4	2	必修				
注	地理学は、次の3通りの履修方法の内、いずれかを選択必修する。 ① 人文地理学1・2のいずれか1科目と、自然地理学1・2のいずれか1科目を履修する。 ② 人文地理学と自然地理学Ⅰ・Ⅱの3科目を履修する。 ③ 地理Ⅰ・地理Ⅱの2科目を履修する。 地誌は、次の3通りの履修方法の内、いずれかを選択必修する。 ① 地誌の1科目を履修する。 ② 地誌1・地誌2の2科目を履修する。 ③ 地誌Ⅰの1科目を履修する。 法学、政治学は、対象科目のいずれか1科目を選択必修する。 社会学、経済学は、次の2通りの履修方法の内、いずれかを選択必修する。 ① 理論社会学を履修する。 ② ミクロ経済学入門・マクロ経済学入門の2科目を履修する。 哲学、倫理学、宗教学は、次の3通りの履修方法の内、いずれかを選択必修する。 ① 哲学研究を履修する。 ② 宗教研究Ⅰ・宗教研究Ⅱの2科目を履修する。 ③ 倫理学概論を履修する。						

[必修科目] ① 及び [選択科目] ② 合計で 28 単位以上履修する。

中学1種「社会」（つづき）

免許法施行規則に規定された科目	〔③必修科目〕	単位	履修方法	〔④選択科目〕	単位	履修方法	備 考
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎総論 1（中・高）	2	全科目必修	教職研究Ⅰ	2	選択	修得した〔④選択科目〕は「大学が独自に設定する科目」として取り扱われる。
	教職概論（中・高）	2		教職研究Ⅱ	2		
	教育制度総論（中・高）	2		教職研究Ⅲ	2		
	教育心理学（中・高）	2		教職研究Ⅳ	2		
	特別支援教育（中・高）	1		教職研究Ⅴ	2		
	教育課程編成論（中・高）	1		教職研究Ⅸ	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育論（中・高）	2		授業技術演習	2		
	総合的な学習・探究論（中・高）	1					
	特別活動論（中・高）	1					
	教育方法・技術論（中・高）	2					
	生徒指導・進路指導論（中・高）	2					
	生徒理解と教育相談（中・高）	2					
教育実践に関する科目	教育実習演習（中・高）（3週間）	5					
	教職実践演習（中・高）	2					
	〔③必修科目〕 合計単位数 27単位						

免許法施行規則に規定された科目	〔⑤必修科目〕	単位	履修方法	〔⑥選 択 科 目〕	単位	履修方法	備考
大学が独自に設定する科目	介護体験実習講義	2	必修	人間理解基礎講座	2	選択	「教科又は教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」等の最低修得単位数を超えて修得した単位もこの区分に計上される
				教職研究Ⅵ	2		
				教職研究Ⅷ	2		
				初等教育インターンシップ	4		
				学級経営インターンシップ	4		
				特別支援教育インターンシップ	4		
				インクルーシブ教育インターンシップ	4		
	〔⑤必修科目〕 合計単位数	2単位					

〔必修科目〕①・③・⑤ 及び 〔選択科目〕②・④・⑥ 合計で59単位以上履修する。

高校 1 種「地理歴史」

免許法施行規則に規定された科目			①必修科目	単位	履修方法	②選択科目	単位	備 考
教科 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	日 本 史	日本史概論A	2	必修	日本政治史	4	
			日本史概論B	2	必修	日本政治思想史	4	
						日本経済史	4	
		外 国 史	外国史概論A	2	必修	日本経済思想史	2	
			外国史概論B	2	必修	経済史入門A	2	
						経済史入門B	2	
		人文地理学・自然地理学	人文地理学1（文学部）	2	選択必修 下記注 参照	メディア・コミュニケーション史	4	
			人文地理学2（文学部）	2		政治行動論	2	
			自然地理学1（文学部）	2				
		地 誌	自然地理学2（文学部）	2	選択必修 下記注 参照			
人文地理学（社会科学部）			2					
自然地理学Ⅰ（社会科学部）			2					
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	自然地理学Ⅱ（社会科学部）	2	選択必修 下記注 参照				
		地理Ⅰ（教育学部）	2					
		地理Ⅱ（教育学部）	2					
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	地理Ⅲ（教育学部）	2	必修 必修				
		地理歴史科教育法 1	2					
		地理歴史科教育法 2	2					

注	地理学は、次の3通りの履修方法の内、いずれかを選択必修する。 ① 人文地理学1・2のいずれか1科目と、自然地理学1・2のいずれか1科目を履修する。 ② 人文地理学と自然地理学Ⅰ・Ⅱの3科目を履修する。 ③ 地理Ⅰ・地理Ⅱ・地理Ⅲの3科目を履修する。 地誌は、次の3通りの履修方法の内、いずれかを選択必修する。 ① 地誌を履修する ② 地誌1・地誌2の2科目を履修する。 ③ 地誌Ⅰ・地誌Ⅱの2科目を履修する。
---	---

[必修科目] ① 及び [選択科目] ② 合計で24単位以上履修する。

高校1種「地理歴史」（つづき）

免許法施行規則に 規定された科目	〔③必修科目〕	単 位	履修 方法	〔④選択科目〕	単 位	履修方法	備 考		
教育の基礎的理解に 関する科目	教育基礎総論 1（中・高） 教職概論（中・高） 教育制度総論（中・高） 教育心理学（中・高） 特別支援教育（中・高） 教育課程編成論（中・高）	2 2 2 2 1 1	全 科 目 必 修	教職研究Ⅰ 教職研究Ⅱ 教職研究Ⅲ 教職研究Ⅳ 教職研究Ⅴ 教職研究Ⅵ 教職研究Ⅶ	2 2 2 2 2 2 2	選 択	修得した 〔④選択科 目〕は「大学 が独自に設 定する科 目」として 取り扱われ る。		
道徳、総合的な学習の時 間等の指導法及び生徒 指導、教育相談等に関す る科目	総合的な学習・探究論（中・高） 特別活動論（中・高） 教育方法・技術論（中・高） 生徒指導・進路指導論（中・高） 生徒理解と教育相談（中・高）	1 1 2 2 2		道徳教育論（中・高） 授業技術演習	2 2				
教育実践に関する科目	教育実習演習（2週間） 教職実践演習（中・高）	3 2							
〔③必修科目〕 合計単位数 23単位									

免許法施行規則に 規定された科目	〔⑤必修科目〕	単 位	履修 方法	〔⑥選 択 科 目〕	単 位	履修方法
大学が独自に設定する 科目				道徳教育論（中・高） 介護体験実習講義 人間理解基礎講座 教職研究Ⅵ 教職研究Ⅶ 初等教育インターンシップ 学級経営インターンシップ 特別支援教育インターンシップ インクルーシブ教育インター ンシップ	2 2 2 2 2 4 4 4 4	「大学が独自に設定す る科目」の選択科目又 は最低修得単位を超え て履修した「教科及び 教科の指導法に関する 科目」又は「教育の基 礎的理解に関する科 目」「道徳、総合的な 学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相 談等に関する科目」「教 育実践に関する科目」 について、併せて12単 位以上を修得

〔必修科目〕①・③・⑤ 及び 〔選択科目〕②・④・⑥ 合計で59単位以上履修する。

高校1種「公民」

免許法施行規則に規定された科目			〔①必修科目〕		単位	履修方法	〔②選択科目〕		単位	備考
教科及び教科に関する専門的事項に 関する科目	教科	「法律学 (国際法を含む。) 政治学 (国際政治を含む。)」	政治分析入門	4	選択必修	国際政治学	4			
			法学A	2	下記注 参照	憲法	4			
			法学A（憲法を含む）	2		国際法Ⅰ	2			
			法学B	2		国際法Ⅱ	2			
			法学B（憲法を含む）	2		日本政治論入門	2			
	に 関する専門的事項	「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	理論社会学	4	選択必修	経済学史Ⅰ	2			
			ミクロ経済学入門	2	下記注 参照	国際関係論入門	2			
			マクロ経済学入門	2		国際経済学	2			
						国際貿易論	2			
						国際金融論	2			
						経済政策	2			
						ミクロ経済学A	2			
						ミクロ経済学B	2			
						マクロ経済学A	2			
						マクロ経済学B	2			
						日本経済論入門	2			
						日本経済論	2			
						Microeconomics A	2			
						Microeconomics B	2			
						Macroeconomics A	2			
						Macroeconomics B	2			
	項目	「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	哲学研究	4	選択必修					
			宗教研究Ⅰ	2	下記注 参照					
宗教研究Ⅱ	2									
倫理学概論	4									
科目	教科及び教科の指導法に 関する科目における複数の 事項を合わせた内容に係る 科目									
	各教科の指導法（情報機 器及び教材の活用を含む。）		公民科教育法1	2	必修		「社会科教育法3」および「社会科教育法4」は、高等学校地理歴史・公民の免許には使用できない。			
			公民科教育法2	2	必修					
注	法律学、政治学は、対象科目のいずれか1科目を選択必修する。 社会学、経済学は、次の2通りの履修方法の内、いずれかを選択必修する。 ① 理論社会学を履修する。 ② ミクロ経済学入門・マクロ経済学入門の2科目を履修する。 哲学、倫理学、宗教学は、次の3通りの履修方法の内、いずれかを選択必修する。 ① 哲学研究を履修する。 ② 宗教研究Ⅰ・宗教研究Ⅱの2科目を履修する。 ③ 倫理学概論を履修する。									

[必修科目] ① 及び [選択科目] ② 合計で24単位以上履修する。

高校1種「公民」(つづき)

免許法施行規則に規定された科目	〔③必修科目〕	単位	履修方法	〔④選択科目〕	単位	履修方法	備 考
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎総論 1（中・高）	2	全科目必修	教職研究Ⅰ	2	選択	修得した〔④選択科目〕は「大学が独自に設定する科目」として取り扱われる。
	教職概論（中・高）	2		教職研究Ⅱ	2		
	教育制度総論（中・高）	2		教職研究Ⅲ	2		
	教育心理学（中・高）	2		教職研究Ⅳ	2		
	特別支援教育（中・高）	1		教職研究Ⅴ	2		
	教育課程編成論（中・高）	1		教職研究Ⅸ	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習・探究論（中・高）	1		道徳教育論（中・高） 授業技術演習	2		
	特別活動論（中・高）	1			2		
	教育方法・技術論（中・高）	2					
	生徒指導・進路指導論（中・高）	2					
	生徒理解と教育相談（中・高）	2					
教育実践に関する科目	教育実習演習（2週間）	3					
	教職実践演習（中・高）	2					
〔③必修科目〕 合計単位数		23単位					

免許法施行規則に規定された科目	〔⑤必修科目〕	単位	履修方法	〔⑥選択科目〕	単位	履修方法
大学が独自に設定する科目				道徳教育論(中・高)	2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得
				介護体験実習講義	2	
				人間理解基礎講座	2	
				教職研究Ⅵ	2	
				教職研究Ⅷ	2	
				初等教育インターンシップ	4	
				学級経営インターンシップ	4	
				特別支援教育インターンシップ	4	
				インクルーシブ教育インターンシップ	4	

〔必修科目〕①・③・⑤及び〔選択科目〕②・④・⑥ 合計で59単位以上履修する。